



可也コミュニティセンター

しまてらす

2021年12月1日発行

糸島市志摩初 18番地 3

TEL/FAX 092-327-1734

E-mail : kaya.k@city.itoshima.lg.jp

No.21号

感謝

地域の子どもたちの育成のために！！



令和2年度に引続き、令和3年度も、松隈行政区の医療機器の設計、製造、販売の株式会社オートシステム様より、地域の子どもたち及び可也校区の発展のためにとご寄付を頂きました。昨年度は新型コロナウイルス感染拡大防止対策の為開催できませんでしたが、今年度は頂きましたご厚意を、年明けに実施致します高齢者と子どもたちによる「ふれあい餅つき大会」に一部つかわせていただきます。温かいご支援に心より感謝申し上げますとともに、今後も子どもたちが生き生きと過ごせる可也校区を目指してまいります。



可也コミュニティセンター
QRコード

防災メール
まもるくん

令和3年度 可也小学校
6年生人権標語優秀作品

市長と区長会の懇談会開催

11月9日(火)に月形市長と可也校区区長会との懇談会が開催されました。最初に月形市長から「豊かさ実感の『いとしま』～ワンランク上のまちづくりをめざして～糸島市の長期総合計画の説明があり、そのあと区長会より、校区の課題について活発な意見要望が出され、住みよい校区づくりのために有意義な意見交換が行われました。



可也小親児の会 イベント開催

可也小親児の会では、昨年好評だった日帰りツアーを11月13日(土)に行いました。みかん狩り、火山登山、瑠璃光寺でのキャンプファイヤー、じゃんけん大会、ジャズ演奏と盛りだくさんの内容で参加者もなんと昨年の90名を超える130名でした。新型コロナウイルスの影響で学校行事やイベントが縮小や中止となる中、久しぶりに楽しいひと時を過ごせたと思います。私自身、ご協力頂いたみなさんや子ども達の笑顔にパワーを貰って元気になりました！本当にありがとうございました。可也小親児の会 会長 江口 史晃



「人権の花」ひまわりの種を大空へ！

11月18日(木)、可也小学校の校庭で3年生が心をつなげて育てたひまわりの種にメッセージを添え、風船につけて大空へ飛ばしました。3年生のやさしい心が風に乗って誰かに届きますように！



市同協可也支部主催 可也小学校6年生人権標語事業を実施致しました。今年も可也小6年生の素晴らしい作品が集まり、審査員の皆さんもとても感動していました。12月11日(土)、人権映画祭の冒頭で表彰式を行います。

- | | | |
|------|----------------------|-------|
| 最優秀賞 | 「やさしさは 心のランプ てらすんだ」 | 小島 歩琉 |
| 最優秀賞 | 「してはだめ 自分がいやと 思うこと」 | 森田 凧海 |
| 優秀賞 | 「その言葉 言い間違えでは 許されない」 | 松本 泰知 |
| 優秀賞 | 「人々が 仲良くなって 幸福に」 | 吉元 勇稀 |



12月の行事予定



- 4日(土) 14:00 アンビシャス広場
- 5日(日) 福岡県アパレル入場紙ヒコーキ大会
- 7日(火) 19:00 区長会
- 11日(土) 9:30 人権映画祭(ふれあい)
- 11日(土) 14:00 アンビシャス広場
- 14日(火) 10:00 初心者向け運動講座⑭
- 15日(水) 10:00 かしまし学級
- 17日(金) 9:00 マイナンバー出張申込み
- 18日(土) 10:00 しま歴史探検隊閉講式
- 19日(日) 9:00 マイナンバー出張申込み
- 21日(火) 10:00 初心者向け運動講座⑮
- 24日(金) 10:00 ダーツkaya
- 25日(土) 10:00 アンビシャス広場

☆行事予定は変更になる場合があります



灯台下暗し No20

「アスリート×農業」
新しいカタチに挑戦!



ゴールデンウルブス福岡

皆さん、ご存じでしたか?日本ハンドボールのトップリーグでプレイしながら、稲留で農業を営んでいる男たちがいることを。そう、彼らは今季でリーグ参入3年目となる“ゴールデンウルブス福岡”の選手たちです。

前身のフレッサ福岡から2019年6月に現チーム名へと変わり、現在、選手15名スタッフ4名で活動し、稲留の農園では、5haを6名で管理している。今の一日のスケジュールは、早朝に伊都菜彩へ出荷、その後収穫や管理作業、午後からはまた菜彩へのお荷や契約先への配達を手分けして行い、あとは暗くなるまで作業をこなす。夜は大学や高校の体育館を借りてハンドボールの練習に汗を流す。試合は主に土日や祝日に行われており、ホームアンドアウエー方式(2回戦総当たり)の年間20試合を戦う。

こんなハードな毎日を送る彼らだが、新しいスポーツと農業のカタチに情熱を持って取り組んでいる。その一つは選手のセカンドキャリアを見据えて。もう一つは農業を通して地域の活性化、地域貢献を目指すこと。これは到底生半可な気持ちでやれるものではない。彼らは誇りを持って真剣に取り組む挑戦している。

これからの展望として、「食」を通じて人と人が接することのできる小さなコミュニティ(食堂)をつくること。子どもたちに「食事」を通して正しい社会を体験させ、一人ひとりに役割を持たせ、自己肯定感を育むこと、その名も『狼食堂』今はその実現に向け、日々努力している。

余談になるが、全くの偶然で、ウルブスのオーナーのお名前は、「泉 可也」(いずみ かの)さん。何と可也の文字が…!これはもう運命!?思わず可也校区から率先して応援したくなります。(機会があれば泉様のお名前の由来をお聞きできればと思います)

ホーム最終戦は、来年2月23日アクシオン福岡で行われます。ハンドボールも農業もみんなまで応援しましょう! 日本ハンドボールリーグ **検索** (佐田)

糸島市健康づくり課より

保健師コラム第18号



腸内環境を整えましょう



食事や飲み物・運動などで腸内環境を整えることを「腸活」といいます。腸は「第二の脳」とも呼ばれ、腸と脳はお互いに影響し合うことも分かっています。

日ごろの生活に腸活を取り入れてみませんか?

食

- 水分をしっかり摂る
- 食物繊維を摂る
- 発酵食品を取り入れる

腸内菌は
善玉菌と悪玉菌の
バランスがポイント!



- ストレスを溜めない
- しっかりと休養
- 趣味でリフレッシュ

- 適度な運動
- お風呂で体を温める
- 年に1回大腸がん検診

体

心

問い合わせ: 糸島市健康づくり課 ☎332-2069

わがまち自画自賛

吉田行政区は、火山(のろし山)の東側に位置し、遥か昔より農業が盛んな土地柄で、県道85号線を境に東西に七つの小組合で構成された地区で、今でも36ha以上の田を有する稲作並びにハウス野菜の栽培が盛んな地区である。

しかしながら、当地区においても高齢化が進み、後継者不足に悩む農家が顕著となっている。

その反面、昨今は農業者以外ではあるが、子育てに適した相互扶助の精神が浸透した住環境の良さから、若い世代の入居希望者も徐々にではあるが増加傾向にあり、子どもたちのにぎやかな声も戻りつつある。

当地区の中心には吉田神社があるが、その昔、明治18年に旧吉田村時代の5社(宇良宮・高野宮・大才山宮・竹崎宮・梅宮)を現在地へ合祀されたもので、地元シニアクラブが中心となって、どこよりも美化活動には熱心に取り組み、周辺には四季折々の花が咲き、訪れた方々からは「いつも綺麗にしてありますね」と評判が良く、地区以外からの参拝者も毎年増加している。

当地区の北側方面には、櫻井神社、二見ヶ浦夫婦岩などの観光地が多く点在し、通過点かもしれませんが、ちょっと足を止めるのも良いかもしれません。

吉田行政区区長 福有 清行



年末年始に伴い、下記の日程は休館致します。

12月29日(水)~1月3日(月)

尚、1月4日(火)以降は通常開館となります。

